

1 パブリック・コメントの実施状況

(1) 募集期間

平成21年7月15日(水)から平成21年8月14日(金)まで

(2) 公表方法等

県のホームページに掲載するとともに、県庁情報公開センター、各地方県民相談室、各県立高等学校等で自由に閲覧できるようにしました。

(3) 意見提出方法等

郵送、ファクシミリ、電子メールにより意見を募集しました。

2 意見の件数

27人 52件

3 提出された意見及びこれに対する考え方

※表中に(2件)とあるのは、同様の意見が2件あったことを表す。

(1) 県立高校再編整備計画(平成20年度～平成23年度計画)一部改定案に係る意見(40件)

意見の内容	意見に対する県の考え方
1 再編整備 (1) 再編統合(40件)	
【大津高校、日置農業高校及び水産高校の再編統合に係る意見】	
3校統合により、大学への進学だけでなく、地域に残り、将来の長門市を支える人材を育てて欲しい。	大津高校、日置農業高校、水産高校の3校を再編統合する新高校では、「地元産業界と連携し、次代を担う人材の育成の推進」「地域の伝統芸能、文学、芸術等に関する学習の推進」「小学生や中学生等との交流授業の充実」など、地域と連携した教育を推進し、ふるさと「長門」に対する理解を深め、地域に貢献できる人材の育成に努めます。
3校統合を機に長門市が元気になるような魅力的な素晴らしい学校をつくって欲しい。	「地元企業と連携したインターンシップ(就業体験)や商品開発等についての学習の充実」「地域産業の担い手育成に向けた取組の推進」「農業体験・水産業体験(実習船乗船等)や食品加工の体験の充実」「国際理解のための教育の充実」など、多様な学習体験を重視した教育を推進し、生徒一人ひとりが夢や目標をもち、その実現に向けて努力することで、進路実現につながるキャリア教育の一層の推進に努めます。
統合により、他の学科の生徒同士が交流することで、柔軟な考え方や創造性が育ち、こうした視野の広い人材の育成が、まさに今の時代にマッチした取組だと思う。	「地元企業と連携したインターンシップ(就業体験)や商品開発等についての学習の充実」「地域産業の担い手育成に向けた取組の推進」「農業体験・水産業体験(実習船乗船等)や食品加工の体験の充実」「国際理解のための教育の充実」など、多様な学習体験を重視した教育を推進し、生徒一人ひとりが夢や目標をもち、その実現に向けて努力することで、進路実現につながるキャリア教育の一層の推進に努めます。
3校統合により、自分の専門分野以外に触れることで、視野の広い人間が育っていくのではないかと思う。	「地元企業と連携したインターンシップ(就業体験)や商品開発等についての学習の充実」「地域産業の担い手育成に向けた取組の推進」「農業体験・水産業体験(実習船乗船等)や食品加工の体験の充実」「国際理解のための教育の充実」など、多様な学習体験を重視した教育を推進し、生徒一人ひとりが夢や目標をもち、その実現に向けて努力することで、進路実現につながるキャリア教育の一層の推進に努めます。
長門地域の高校の再編により、高校時代にいろいろなことを体験できることは、素晴らしいことだと思う。このように、一つの学校で、多様な学習が少しでも経験できるような学校づくりを山口県で進め、優秀な人材が山口県で「育つ」「暮らす」「戻る」といった教育を進めて欲しい。	「地元企業と連携したインターンシップ(就業体験)や商品開発等についての学習の充実」「地域産業の担い手育成に向けた取組の推進」「農業体験・水産業体験(実習船乗船等)や食品加工の体験の充実」「国際理解のための教育の充実」など、多様な学習体験を重視した教育を推進し、生徒一人ひとりが夢や目標をもち、その実現に向けて努力することで、進路実現につながるキャリア教育の一層の推進に努めます。

意見の内容	意見に対する県の考え方
<p>高校時代はたくさんの同学年の仲間がいて、部活動もいろいろあって、いろんなタイプの先生がいるような学校が理想であると思う。</p>	<p>新高校では、3校が実践してきた普通科、農業科及び水産科の教育機能を統合後の学校においても充実・発展させるとともに、各学科の連携を図りながら、学科の枠を越えた学習や多様な学習体験を可能とする選択幅の広い教育の展開など、質の高い特色ある学校づくりの推進に努めます。</p> <p>また、生徒の主体性を重視した学校祭や体育大会など、多彩で活気のある学校行事を実施したり、部活動の種類や部員数が増える中で、活力ある部活動を展開することにより、学校全体の活性化に努めるとともに、豊かな人間性や社会性などの育成を図ります。</p>
<p>現在の長門地域の各学校の規模や入学の状況、地域の中学生の数などから、大津、水産、日置農業の3校の統合の方向を示したのは妥当な方針だと思う。</p>	
<p>高校生活において部活動は非常に重要な要素であり、学校全体を活性化するためにも、3校を統合し、学校の規模を大きくする考えに賛成である。</p>	
<p>部員数が減少し、団体チームが組めない部や休部、廃部の可能性がある部があると聞く。早く3校統合をして、既存の部活動を存続させて欲しい。(2件)</p>	
<p>3校の学校規模がここまで小さくなると普通科の進学指導、専門学科の特色ある教育活動、部活動の活性化は難しくなると考えるが、子どもたちに質の高い高校教育を本当に提供するためにも、一日も早く3校を統合すべきであると思う。</p>	
<p>卒業生として、大津高校が単独で頑張っているという思いはあるが、一方で、このまま衰退するのを見るのは寂しい。昔のように、進学でも部活動でも活力があった高校を取り戻すには統合しかないと考える。</p>	
<p>子どもたちのためにも、リーフレットで示された「3校統合による特色ある学校づくり」に県教委は責任をもって取り組んで欲しい。</p>	
<p>農業科、水産科、普通科がひとつの学校として学科の枠を越えた学習を進めることは、とてもよいことと思う。</p>	<p>統合後の新高校においては、生徒が、他学科の学習や多様な学習体験を選択できるよう、幅広い教育の推進に努めます。</p>
<p>新高校で行われる農業体験や乗船体験などは、教室の中で行えない貴重な体験である。こうした機会のある魅力的な新高校が、少しでも早く誕生することを期待している。</p>	

意見の内容	意見に対する県の考え方
<p>3校を統合して、市外や県外からも生徒が来るようにするために、学科や地域の特性を活かして、調理科の新設を検討して欲しい。</p>	<p>新しい学習内容や必要な施設設備等については、生徒や社会のニーズに応じた特色ある学校づくりを進める中で引き続き検討を進めます。</p>
<p>3校統合のメリットとして、普通科、農業科の希望する生徒にも小型船舶4級など、免許や資格を取得させるとよいと思う。</p>	
<p>統合後は、3学科の男子・女子の生徒が入寮できるよう、寮の建て替えを考えて欲しい。</p>	
<p>農業や水産の分野では、生産から流通・販売までの知識をもてるような教育が必要であると思う。</p>	<p>新高校においては、地域産業界と連携し、専門的な知識と技術・技能をもった将来のスペシャリストの育成を図るなど、専門教育の一層の充実に努めます。</p>
<p>国や県が農林水産業の振興策をうたっているいまこそ農業高校、水産高校に時代のニーズにあった設備や学科を新設する絶好の機会であり、専門教育をより充実して欲しい。</p>	
<p>少子化も急速に進んでおり、統合実施が遅くなればなるほど、子どもたちの学習や部活動などに影響が出てくるのは明らかである。可能な限り早く取り組む方が、子どもたちのためになるのではないかと思う。</p>	<p>子どもたちにできるだけ早く、より質の高い高校教育を提供することが大切と考えています。再編統合については、特色ある学校づくりの推進、新入生・在校生への影響などの観点から、実施時期を総合的に判断し、実施します。</p>
<p>北浦地域の子どもの減少は著しいので、勉強をはじめ、部活動や行事などもできなくなっていくのではないかと思う。できるだけ早く多くの人とふれあえるような理想の学校を子どもたちのために整えて欲しい。(2件)</p>	
<p>統合について、いろいろあるとは思いますが、子どもたちの状況を把握している県教委が、子どもたちのことを本当に考えるのであれば、すぐにでも統合に取り組まなければならない状況だと思う。</p>	
<p>3校統合を実施するのであれば、各校の活力が残っているうちに策を講じないと、統合しても効果が薄れるのではないかと思う。</p>	
<p>長門地域の3校の統合について、生徒・保護者の一番の関心は、実施時期であり、計画に追加するのであれば、はっきりした統合実施年度を示すべきであると思う。</p>	
<p>3キャンパス制の統合に賛成である。早く統合して、よりよい教育環境を生徒に提供して欲しいと思う。</p>	
<p>長門地域の3高校では、定員割れが続いていて、財政効率是非常に悪いのではないか。ここは英断を下して、早く3校統合を実行し、山口県のための施策を遂行されることを望む。</p>	

意見の内容	意見に対する県の考え方
<p>日置農業高校や水産高校で取り組んできた環境に関する研究活動を3校統合による新高校においても継続することを期待しており、早く実現するとよいと思う。</p>	<p>山口県の豊かな自然といのちを次世代に引き継いでいくため、生涯にわたって環境保全等に取り組む基礎を養うよう、環境教育を学校等で行うことを目指しています。日置農業高校の循環型農業に関する研究、水産高校の藻場の再生の研究は、全国的にも高い評価を受けており、新高校でも、学校全体でこれらの研究を受け継ぎ、その充実に努めます。</p>
<p>3つの校地を活用しても、学校運営や校舎間の連絡調整がスムーズにいくように工夫をして欲しい。</p>	<p>新高校では、3つの校地にある施設を活用するキャンパス方式により、各高校がこれまで実践してきた教育活動を受け継ぎ、専門性の確保等を図りながら、授業や学校行事・部活動の実施の工夫により、一つの学校としての一体感の醸成、生活指導の充実に努めます。</p> <p>また、キャンパス間の連携を図り、多様な学習体験を推進するとともに、円滑な学校運営のための工夫・改善に努めます。</p>
<p>各学科の専門性が薄れ、学力低下、一つの学校としての一体感の欠如、移動などによる生徒や教員等の負担の増加、生徒指導の困難さ、季節とかかわる学校行事の実施など、3校の統合による諸問題を克服することは困難だと思ふ。</p>	
<p>大津高校は、最後の学園と呼ばれる学校であり、存続を強く訴える。統合によって、いま以上の進学校としてのメリットはあまり見えてこないのではないかと思う。(2件)</p>	<p>大津高校が実践してきた普通科における教育を受け継ぎながら、統合後の学校においても一層充実できるよう、単位制の導入による多様な選択科目の開設、高大連携教育の推進などに取り組みます。</p>
<p>農業高校と水産高校の統合については理解できるが、そこに普通科の高校を近いということだけで統合することには賛成できない。</p>	<p>今後も中学校卒業生数の減少が見込まれる中で、学校規模の縮小に伴い、教職員数も減少することから、3校それぞれが単独のままでは、教育の質を確保することが困難になることが予想されます。</p> <p>こうした中、長門地域では、普通教育、農業教育、水産教育の3つの教育機能を維持・充実させていく必要があると考えており、3つの教育機能を活用して、幅広い視野で物事を考え判断する能力を養い、地域社会に貢献できる人材の育成を図るため、大津高校、日置農業高校及び水産高校を再編統合して、新高校を設置することとしました。</p>
<p>専門高校どうし、普通高校どうしの統合であれば理解できるが、3校統合による新高校に普通科があっても生徒は市外の普通科を志願するのではないかと思う。(2件)</p>	
<p>子どもたちのために、当面は3校独立で運営を行い、諸行事や部活動などでの連携を行うことにより、よりよい教育が進められるのではないかと思う。</p>	
<p>普通高校と農業・水産高校との安易な統合計画は、国や県が農林水産業の振興策をうたっている現在の流れに逆行するのではないか。農水産業を担う人材を育成する大切な学校、専門高校としての存続を強く願います。</p>	
<p>なぜ長門市の高校を急いで再編するのか。3校統合について反対である。(2件)</p>	

(2) その他の意見 (12件)

これらの他に、次のような御意見もありました。今後の参考にさせていただきます。

再編整備の進め方に係る意見 (2件)
「県立高校将来構想」の基本姿勢及び「社会の変化や生徒のニーズの対応」を大切にして、関係する児童生徒、保護者、教職員、地域住民と十分に協議を行い、実施計画を推進することを望む。
地元説明会では、反対や疑問の意見が多く、賛成の意見など出ていないのに統合を進めようとする強引なやり方には納得できない。
再編整備全般に係る意見 (7件)
本県の“高校教育活性化の起爆剤”“教育改革推進の牽引力”として、県立高校再編整備が機能することに期待を寄せており、基本的に賛成である。
工業高等学校は、各地域の特色に応じた学科を新設してはどうかと思う。
県立高校の見直しを図り、再編統合することで、経費削減が図られることは非常にいいことだと思う。
大津高校のある萩学区を美祢市や旧豊浦郡北部まで拡大してはどうかと思う。(2件)
水産高校の既存の「航海科」「機関科」だけでなく、長門地区の産業発展のために、「水産漁業」「農業生産」「農水産加工」等の専攻科ができればよいと思う。また、キャリア教育の視点から考えれば、長門地域以外においても検討してはどうかと思う。
長門市以外の地域にも再編を考えるべき高校があるのではないかと思う。
個別の学校に対する意見 (2件)
中学校卒業生数からみても、大津高校の定員は少ないのではないかと思う。萩・長門地区は普通科系の定員が少なく、単独普通高校が2つしかないのはおかしいと思う。
防府商業に設置する工業科の教育内容を早く示して欲しい。
その他の意見 (1件)
従来の農業、水産高校を統合して、総合技術学校を県内に4～5校設置して、山口県の第一次産業に携わる人材を育成して欲しい。